

令和6年第2回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たりまして、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、白井市出身のウェイトリフティング選手 鈴木梨羅さんのパリ五輪代表内定について申し上げます。

白井市出身の鈴木梨羅選手のパリ五輪ウェイトリフティング女子 49 キロ級への代表内定が発表されました。約2年間にわたる過酷な選考レースを勝ち抜いた末の快挙に、市民を代表し心から敬意を表します。

地元の選手がオリンピックの晴れ舞台に出場するという事は、市民に大きな夢と希望を与えてくれる大変うれしいニュースです。オリンピック初出場となる鈴木選手のご活躍を、市をあげて全力で応援してまいります。

次に、「麗澤大学との包括連携に関する協定について」申し上げます。

市と麗澤大学は、相互に緊密な連携を強化し、協働による活動を推進することにより、人材の育成や地域の活性化を図るため、5月24日に包括連携に関する協定を締結しました。

これまで、様々な民間企業等と包括連携を進めてまいりましたが、教育研究機関との連携協定の締結は本市では2例目となります。連携項目については、人材の育成や農業等の産業振興に関することなどを協働して実施することとしています。

今後、市梨業組合などと連携し、市の特産品である梨の栽培におけるスマート農業の可能性を探り、特産品である梨を活かしながら、地域の活性化を図ってまいります。

次に、「災害時における応急対応に関する協定について」申し上げます。

災害時における応急対応および早期復旧などを図るため、災害時の応援協定を締結いたしました。協定内容については、避難所や住宅の応急修理や応急仮設住宅の建設に係るもののほか、トイレや冷暖房機、生活用品など幅広い資機材の供給を行っていただき、被災者の生活環境の向上の役割を担っていただくものです。

市では、今後も防災関係機関や民間事業者、市民の皆様と連携・協力体制の強化を図りながら、「災害に強いまちづくり」を推進してまいります。

次に、「有機フッ素化合物（P F O S 及び P F O A）に係る対応の進捗状況等について」申し上げます。

千葉県では、令和3年度からP F O S 及びP F O Aを要監視項目として水質測定計画に位置付け、河川などの調査を実施しており、白井市と柏市の市境を流れる金山落の名内橋では、P F O S 及びP F O Aの合計値が、国が定める暫定指針値である50ng/Lを継続的に超過しています。

このため、千葉県と柏市が連携し、令和6年3月11日に11地点で超過原因を把握するための追加調査を行い、その結果について令和6年4月16日に報道発表がありました。その調査結果の内容につきましては、複数の地点で暫定指針値の超過が確認されております。

このようなことから、市では市民生活の安全確保や健康を第一に考え、金山落沿い200メートルの範囲内にある井戸の諸元調査を行い、その後、対象となる井戸水の水質検査を行っているところでございます。

また、水質検査の結果につきましては、井戸の所有者に通知するとともに、個人が特定されることのないよう配慮したうえで公表をする予定です。

なお、P F O S 及びP F O Aは、人体への影響も含めわからない部分が多いため、今後につきましても、引き続き国、県及び関係機関と連携し、情報の収集及び共有に努め、市民に対して適切に情報提供してまいります。

次に、「白井市第6次総合計画の策定及び白井市都市マスタープランの改定に係る情報発信について」申し上げます。

市では、令和8年度から開始する第6次総合計画の策定及び都市マスタープランの改定に当たり、次世代を担う子どもたちや若い世代の皆さんを中心に総合計画への関心を高め、未来の白井市について一緒に考える契機とするため、私の声で情報を発信する、市長公式ユーチューブを5月に開設しました。

動画作成にあたり、親しみやすく、わかりやすく、しっかり伝わるよう情報発信を行っていきたいと考えております。

以上で諸般の報告を終わります。